

平成29年度 長野幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

—よく遊びふれあい学ぶ凜とした逞しい子の育成をめざして—
「にっこりあいさつ わくわくトライ しゃきつとそろえる はだしマン」

2. 本年度の重点目標

- ・遊び、体験・生活を通して子どもの知力・徳力・体力の伸長を図る。
- ・気づき考え主体的に活動し学ぶことができる子。 —ひとりのできる みんなとできる—

3. 自己評価

- A…十分達成されている B…達成されている
C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・園全体で子どもを見てくれている。どの先生もていねいな指導をしてくれている。
- ・いろいろな場所にでかけてさまざまな体験をしていることはよい。
- ・さらに歩育、食育を進めてほしい。
- ・これからもHPの更新に努めてほしい。
- ・小学校から英語が始まっている。英語に対する要望が増えてくることが予想される。対応できるよう考えていく必要がある。イマージョンクラスに希望者全員入れるようにしてほしい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・子どもの主体的活動をめざし、園内研修で一人1公開を計24回実施した。次年度は、新教育要領に基づいた保育・教育がスタートする。さらに一人ひとりの向上をめざした研究・研修に努めたい。
- ・「日々の保育の振り返りと課題を明確にする」がB評価。1日の振り返りと記録を徹底したい。
- ・職員の保育への取り組み姿勢を評価いただいている。これからも全職員で全園児の保育・教育に努める。
- ・園外保育目的地の系統性を見直し、イチゴ狩りを加えた。さらに検討していきたい。
- ・年長児が自分たちで企画・運営する集会を計画的に配置する。今年度は、年長児がクリスマス会、豆まき、雛祭り、イングリッシュデイを自分たちで実施した。